



藍の美しさに  
魅せられたご夫婦。  
古民家で感性に  
深みを作る日々。

たけうち ゆうし さん カマダエリカ さん  
竹内 祐志 (30代) (20代)

<会津美里町> 2022年 U&Iターン  
服飾デザイナー・藍染アーティスト(起業)

## 会津美里町で「藍」に向き合う移住

『会津美里町の本郷地区は良質の土が出ることから焼き物の町として栄えてきました。東北唯一の陶器と磁器の職人が混在することもあり、町の中の工房はそれぞれの特徴があり、焼き物好きなら散策が楽しい町です。400年続く「本郷のせと市」は現在コロナ禍で「せと市ウィーク」となり多くのファンが訪れます。

この町に移住してきた竹内さんご夫婦。祐志さんは会津若松市出身で、エリカさんは徳島県出身。物を作るお二人が会津美里町に移住したきっかけ、興味深いお仕事の話、古民家に住むまでのお話や住んでみてのことなどを、住まいであり仕事場でもある古民家にお伺いして取材しました。』

取材日 2022年12月29日

## 移住のきっかけと古民家と猫と

### <移住のきっかけ>

私(祐志さん)の家庭のこともあり、実家の近くに移住を考えていたのがきっかけなのですが、藍を栽培できる農地付きの物件を探していたこともきっかけの一つです。

元々私は会津若松市に高校生まで居て、ファッション stylist になりたいと東京都内の専門学校に行きました。都内でアパレルの仕事を経験し、ファッションブランドを立ち上げ独立しました。その後、妻が藍染の勉強のため徳島県に移住したので、私も少し遅れて徳島県に移りました。

私(エリカさん)は徳島県の高校を卒業して都内で働きながら自分の道を模索していました。伝統工芸に興味を湧き、いろいろ調べている中で、地元で藍染も調べたら、藍染をしている人の真っ青になっている「手」の画像を見つけて衝撃を受けました。私もこの手になりたい、という思いで、藍の世界に飛び込みました。徳島は藍染の原料の生産者が多く、栽培から染色まで色々な人から学べたのでとても良い時間を過ごしました。

### <古民家での暮らし>

徳島で飼っていた猫3匹も一緒に移ってきました。来てからしばらくはストレスで猫たちも落ち着かなかったのですが、今では縁側で日向ぼっこしたりのんびりしています。この古民家の持ち主がすごくいい方で、家の中の家財道具も使えそうなものは譲ってもらいました。家



の中も好きに改装していいといってくれますし、畑も近くて、私たちにとっては好条件です。

ただ、お話をいただいてすぐ決めたので地区の会費など後から聞いたこともありまして、ここは最初に聞いておくべきところだったと思っています。

また、夏は蜂の巣ができてしまって駆除したり、冬は水道管の凍結で水漏れ、雪かきやすきま風対策など、お家が広い分マンションやアパートよりもやらなければいけないことは多いかもしれません。

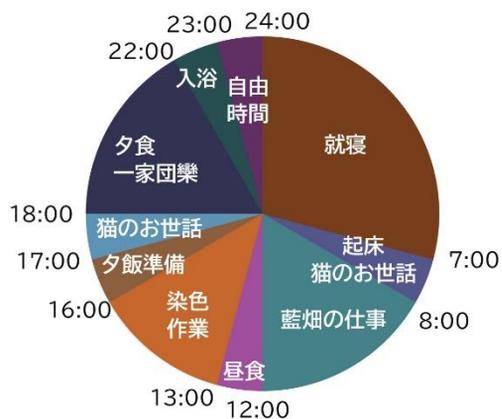
## <仕事のこと>

私(エリカさん)は畑から染色まで一貫して行い、藍染の作品や、商品を作っています。私が染めた布を使用して祐志さんが藍の洋服を作ってくれます。天然のものだけを使用し、発酵させた液で染色をしています。化学染料の染物と違い手間がかかりますが、とても愛着が湧きます。いつも素手で染めているので、手と一緒に染まります。それがとても嬉しいです。伝統のものなので、染屋さんごとにやり方が違って、その土地の派というのもあり、とても面白いです。せっかくなので、会津美里町で栽培からやってみて藍を伝えられたら嬉しいです。楽しくポップな藍を広められる



エリカさんの染めた直後の手

## ある一日のスケジュール



ように頑張りたいです。

私(祐志さん)はブランド運営と並行して、地域おこし協力隊、会津本郷焼技術継承者として活動しています。洋服も焼き物も未来に残せるような、自分らしい作品を発信していきたいです。

## <会津美里町の暮らし>

移住先には畑と倉庫があるお家を探していたので全てにおいて良い所に住めたので、ご縁に感謝しています。あと、ご近所の方々が親切な人達ばかりで、畑のことや暮らしのことなど、教えてもらっています。作業をしていたら話しかけてくれたり、お野菜をいただけたり、たくさんの優しさをもらうことが多く、何かお返しができるように、生活の土台をしっかりとしたいという気持ちが強くなりました。

会津美里町の本郷地区は陶磁器が有名な場所で、古民家を片付けている時も大量にお皿が出てきてお皿の町だな、と強く感じました。

会津美里町にある家から車で25分ほどで会津若松駅に行けます。その駅周辺にスーパーや薬局もあるので、生活するにはちょうど良い場所だと思います。

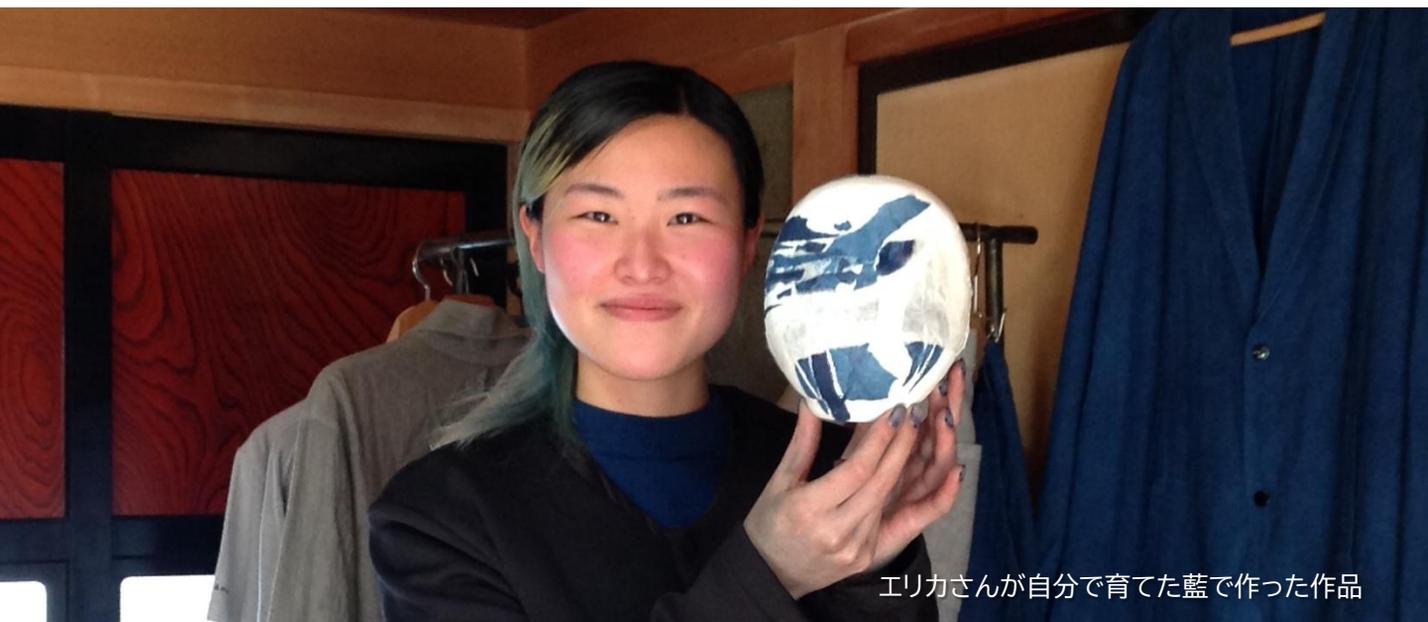
今年は家の横の倉庫を工房にしようと思っています。自分達で出来るところはやりたいので、今年から手をかけていこうと思います。自分達の好きな感じに作れるようにしていきたいのですが、人が気軽に集まれる工房が理想なので今年から少しずつ頑張りたいです。完成したら遊びに来てください。

## 竹内さんの行動歴

祐志さん 会津若松市生まれ → 東京都(専門学校・就職・起業) → 徳島県 → 会津美里町へ  
エリカさん 徳島県生まれ → 東京都(勤務) → 徳島県 → 会津美里町へ

## 移住を検討している方にアドバイス

雪国の一戸建ては寒いです。霜やけ対策に靴下を厚めに履いています。



エリカさんが自分で育てた藍で作った作品

**現住人口** 18,342人 男性/8,824人 女性/9,518人

**面積** 276.33平方キロメートル

**標高** 海拔 225.7m(会津美里町役場)

**最寄駅** JR只見線「会津本郷駅」本郷地域 「会津高田駅」高田地域 「新鶴駅」「根岸駅」新鶴地域

**最寄IC** 磐越自動車道「新鶴スマートIC」

**保・幼・こ** 認定こども園 4園

**小学校数** 公立 4校

**中学校数** 公立 3校

**高校数** 公立 1校

**病院数** 病院 1か所 診療所 3か所 歯科 5か所

## 町の特徴

会津盆地の西側に位置し、大きく3エリアに分かれている町。会津伊佐須美神社は会津の中でも信仰の大事な場所である。また、会津本郷焼、高田梅、新鶴のオタネニンジンなど、特徴のある産品が揃っている。最近はブドウ栽培の延長でワイナリーもでき新しい取組にも積極的な地域である。

## 移住 サポート 窓口

会津美里町役場(政策財政課)

会津美里町移住・定住サイト「美の里でくらす。みさとぐらし」 [misato-iju.jp](http://misato-iju.jp)

電話:0242-55-1171

メール:[seisaku@town.aizumisato.fukushima.jp](mailto:seisaku@town.aizumisato.fukushima.jp)

